

「最期まで自宅で」 願い尊重

「最期まで自宅で過ごしたい」「痛くない死に方がしたい」。

患者の願いを尊重して在宅医療に力を入れ、約2500人をみとってきた医師・長尾和宏さん(62)は兵庫県尼崎市の日常を追ったドキュメンタリー映画「けっぺいな町医者」が13日公開される。20日からは、長尾さんの著書を原作にした劇映画「痛くない死に方」も公開される。

長尾さんは「町全体が私の病棟、自宅は世界最高の特別室」



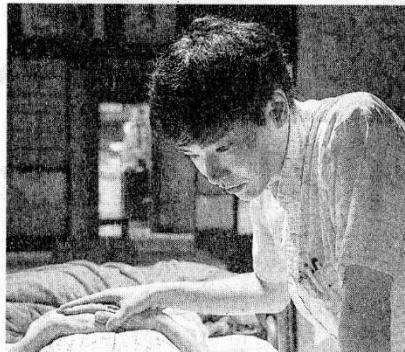
在宅医療の第一人者、長尾和宏医師(ドキュメンタリー映画「けっぺいな町医者」の場面より)

町医者・長尾和宏さん

ドキュメンタリー映画あす公開 / 劇映画20日公開

がモットー。あえて「町医者」という言葉にこだわる。

医療を志したのは、高校生のときに父親が死去したことがきっかけだ。父親はうつ病を嫌い、大量の薬を投与され、入院を繰り返して苦しんでいた。そのつらい経験から「病気だけではなく、人を診る医師になりたい」と一念発起し、東京医科大学医学部に入學。バイトで学費を稼いだ。



劇映画「痛くない死に方」で、患者を診る若手医師を演じる柄本佑さん

1995年、兵庫県尼崎市に長尾クリニックを開業。外来診療とともに、年中無休で在宅医療に力を入れる。「その人の暮

になるのか分かる」と長尾さん。「誰にも死が訪れるが、多くの人が『どう死にたいか』を考えてこなかった。だがコロナ禍でいままでになく『死』が身近になった」という。

映画「けっぺいな町医者」(毛利安孝監督)では、長尾さんが往診して患者の手をとり目をみて診察したり、患者の家族と笑顔で会話したりする様子を記録している。音楽会を開いて自慢の歌を披露する場面もあり、パワフルに活動する姿が紹介されている。

この映画でナレーションを務める俳優の柄本佑さんが、劇映画「痛くない死に方」(高橋伴明監督)で若手医師役で主演。長尾さんをモデルにした先輩医師を、俳優の奥田瑛二さんが演じる。

2作には「死を考えること」は、どう生きたいかを考えることだ」という長尾さんのメッセージが貫かれている。

都内で2作を上映する映画館は、シネスイッチ銀座(中央区)とMOVIE X 昭島(昭島市)。長尾さんは13、14日にシネスイッチ銀座に駆けつけて、舞台あいさつをする予定だ。(伊藤恵里奈)



立川支局

〒190-0012

立川市曙町2-38-5

立川ビジネスセンタービル3階

☎ 042-524-5104

fax 042-524-5106

mail tachikawa@

asahi.com

町田 ☎ 042-723-3251

八王子 ☎ 042-646-8511

青梅 ☎ 0428-24-3824

東京総局

〒104-8011

中央区築地5-3-2

☎ 03-5541-8435

購読・配達のご用は

☎ 0120-33-0843

(7:00~21:00)

広告のご用は

☎ 045-641-5151

折込みのご用は

☎ 03-3544-7621

きょうの天気

6-12時 降水確率 12-18時

0	大手町	0
0	練馬	0
0	府中	0
0	八王子	0
大手		府中